

## 第29回 固体飛跡検出器研究会プログラム

場所: 福井大学附属国際原子力工学研究所 第1講義室

3月30日

講演題目	講演者	所属	講演時間	開始	終了
座長: 山内知也					
1 従来型赤外分光と顕微分光との相互比較	上田隆裕	神戸大	0:15	12:30	12:45
2 イオン照射及び化学エッチングによるプラスチック表面の特性変化	岩崎研太	神戸大	0:15	12:45	13:00
3 PADC検出器中イオントラックに生成されるヒドロキシル基の研究	亀田結貴	神戸大	0:15	13:00	13:15
4 Xeイオン(290 MeV/n), Krイオン(400 MeV/n)を照射したポリイミドの損傷構造	池永龍之介	神戸大	0:15	13:15	13:30
5 質量分析法を用いた高分子材料中に生じる放射線損傷検出法の研究	井原大輔	東邦大	0:15	13:30	13:45
休憩					
座長: 小平聡					
6 高閾値飛跡検出器としてのポリイミド樹脂の研究	安田修一郎	神戸大	0:15	13:55	14:10
7 高閾値検出器としてのポリエチレンテレフタレートの研究	上野琢也	神戸大	0:15	14:10	14:25
8 CR-39と銀活性リン酸塩ガラスを用いた超重核測定法の検討	四之宮創	早稲田大	0:15	14:25	14:40
9 PADC検出器中重イオントラック内に形成されるOH基の役割	楠本多聞	神戸大	0:15	14:40	14:55
10 従来型実効電荷と加速器物理等で用いられる実効電荷の相互比較	楠本多聞	神戸大	0:15	14:55	15:10
休憩					
座長: 小田啓二					
11 高速顕微鏡システムの高性能化と多様な放射線場への適用	小平聡	放医研	0:15	15:20	15:35
12 CR-39を用いたMOX燃料の品質評価の自動解析ソフトの開発	小平聡	放医研	0:15	15:35	15:50
13 第24期太陽活動極小期から極大期(2008-2013年)における国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」船内の宇宙放射線環境の変動について	坂根小百合	(株)エイ・イー・エス	0:15	15:50	16:05
14 ダイヤモンド中のNVセンターを利用した高エネルギー重イオン飛跡検出の原理実証	加田 渉	群馬大	0:15	16:05	16:20
15 蛍光飛跡検出素子をベースとした個人中性子線量計用ラジエータの設計	中山高宏	神戸大	0:15	16:20	16:35
休憩					
座長: 安田仲宏					
招待講演 16 原子核乾板による宇宙線ミュオンラジオグラフィシステムの開発と多分野への展開	森島邦博	名古屋大	0:40	16:45	17:25
17 FNTD線量計の国内での取り組み	小林育夫	長瀬ランダウア(株)	0:15	17:25	17:40
18 固体飛跡検出学校教材[ $\alpha$ 線観測学校教材]及び放射線教育関連商品について	長谷仁・来田文夫	(株)サンルックス	0:15	17:40	17:55
19 FlexSCOPE(高領域多層撮像顕微鏡)の紹介	梅島洋介	セイコープレジジョン(株)	0:15	17:55	18:10

3月31日

座長: 鶴田隆雄					
20 短時間で観測が可能なPADC飛跡検出器の開発と放射線教育への応用	寺下佳孝	舞鶴高専	0:15	9:30	9:45
21 レーザー駆動陽子線を用いたプラズマイメージングへの固体飛跡検出器の利用	福田祐仁	原子力機構関西	0:15	9:45	10:00
22 重イオンを含む放射線混成場への固体飛跡検出器の適用	山内 知也	神戸大	0:15	10:00	10:15
23 CR-39とAFMを用いた陽子線からの標的核破砕粒子の線量計測法	小平聡	放医研	0:15	10:15	10:30
休憩					
座長: 三角尚治					
24 CR-39を用いた自動飛跡追跡法による重イオンの核破砕反応断面積の測定	花岡慶祐	放医研	0:15	10:40	10:55
25 銀塩写真感光材料を用いた飛跡検出における低温赤色光後露光補力効果の温度依存性	久下謙一	千葉大	0:15	10:55	11:10
26 分子間長の異なるモノマーから合成されたポリマーの荷電粒子に対するレスポンス 顕微FT-IR測定 (II)	川嶋元	放医研	0:15	11:10	11:25
27 蛍光修飾スクレオチドを用いた放射線による生体分子の損傷量評価手法に関する研究	松尾陽一郎	福井大	0:15	11:25	11:40